

静岡精華学園報

令和7
2025
秋季

静岡福祉大学／静岡大成高等学校／静岡大成中学校／静岡精華幼稚園
発行者:学校法人静岡精華学園 〒425-0063 静岡県焼津市本中根549-1 TEL.054-656-2100(代) www.s-seika.jp

SHIZUOKA
SEIKA
GAKUENHOU
VOL.10

精華幼稚園のお泊り保育

静岡精華幼稚園 副園長 谷澤 徳子

お泊り保育の目的と意義

静岡精華幼稚園では年長児になるとお泊り保育という行事があります。これは精華幼稚園年長児の恒例行事であり、毎年7月に1泊2日で行っています。お泊り保育のねらいとしては、

お泊り保育を友達と一緒に楽しむ 衣・食・住の大切さを知り、生活の自立を促すです。

このお泊り保育は、子供たちにとっては、家族と初めて離れて一泊を過ごすという子も多く、楽しい気持ちと共にドキドキ、そしてちょっぴり不安な気持ちを抱えて迎えます。

お泊り保育に向けては1学期から準備を始めます。まず、年長の担任を中心に職員でお泊り保育の内容について検討します。その年の暑さや、子供たちの様子、時間的なこと等を考慮して決めていきます。その後、子供たちと一緒に具体的な内容について話し合います。

まずはグループ決めです。子供たちの心の安定を考え、誰と同じグループになりたいかを一人ずつ聞いていきます。

その上でグループを決定します。グループが決まると、その中で役割分担の話し合いが始まります。リーダー、並ばせ係、ごはん係、キャンプファイヤー係、整理整頓係、それぞれ自分がやりたい係を立候補制で決めます。一人一人が役割を担うことで、楽しい中にも責任をもって過ごすことができます。

自分たちで夕食を作るときメニューも話し合います。この話し合いでは、いろいろなメニューが子供たちから飛び出します。カレー、スパゲティ、ハンバーグ、オムライス等自分達が食べたい物が出てきます。夕食を自分たちで作る年は、お泊り保育の1日目に皆でスーパーに買い物に行きます。今年度は、他の活動とのかね合いからクッキングはせずに、夕食は職員がカレーとサラダを準備し

ました。お泊りの食事の時使用するテーブルクロスも、自分たちで手作りをして用意します。

in-dex^{もくじ} vol.10

精華幼稚園のお泊り保育

自立への第一歩

イングリッシュキャンプ

コミュニケーションの大切さを実感

渡米事業アンバサダーに任命

静岡大成高校 美術部 川内 ひまり

部活・サークル紹介

高校バドミントン部 / 女子サッカー部

学生図書館サポーターの活動

静岡福祉大学 学生図書館サポーター委員長 岡本 亜輝斗

取り組み紹介

モンゴル・グローバルリーダーシップ大学と協定を締結
焼津市観光協会との包括連携協定について

静岡福祉大学からのお知らせ

ゼミ紹介

静岡福祉大学 福祉心理学科 学科長・教授 福田幸夫先生

ヘッドネーション

静岡大成中学校 石川陽絆

同窓会



また、それぞれのグループの担当職員に事前に挨拶にもいきます。「楽しくやろうね。困ったことがあったらなんでもお話ししてね。」職員は子供たちを笑顔で迎えます。このお泊まり保育、保護者の方々もそれぞれの思いがあると思います。



心配なこと、伝えたいことなど事前にアンケートに記入をして提出してもらっています。それをもとに私達職員は、特に夜中の対応等様々な配慮をしています。

1ヶ月程かけ、お泊まりに向けて準備をしてきた子供たち。楽しみで待ちきれない気持ちの子もいれば、ちょっぴり不安な気持ちの子、それぞれの気持ちを抱え当日を迎えます。

1日目は、昼食を済ませての登園です。子供たちはリュックにお泊りセットを入れて登園してきます。大半は楽しみで嬉しくて元気に登園してくるのですが、中にはちょっぴり不安な顔の子もいます。

それでもお友達や先生に会うと不安な気持ちは和らぎ、それぞれのクラスへ向かっていきます。

さあ、お泊り保育の始まりです！
まず、遊戯室で始まりの会を行います。子供たちはちょっぴり緊張しています。始まりの会が終わると、この日の主活動となります。今年度は、匠宿の木育スペースに園バスで行きました。ここは、森の香りに包まれながら木で遊ぶ体験ができる場所です。それぞれ好きな木工あそびに分かれ、生き生きと遊びを楽しんでいました。

思い切り発散した後は園に戻って次のお楽しみ、マジックショーを観ました。マジシャンによるマジックに子供たちも職員も目はきぎ付けです。鳩が飛び出したり、テーブルが浮いたりと皆大興奮でした。テーブル浮きは、子供たちにも一人ずつ体験させてもらい不思議な世界



に目はきらきらでした。

楽しかったマジックショーの後は夕食の時間です。職員が作ったカレーとサラダをいただきます。皆で食べるカレーはとてもおいしく、お代わりをする子どもたくさんいました。いつもは苦手なサラダの野菜もこの日ばかりは頑張って食べていました。

夕飯が終わるころにはあたりも暗くなってきて、いよいよ夜のお楽しみの始まりです。まずは布団敷きです。遊戯室いっぱいには布団を並べ、シーツは2人1組となり自分たちで準備をします。布団にシーツをかけることなど初めての子が多く、どのようにやるのか説明を受けてから一斉に行います。これが結構難しく、子供たちは悪戦苦闘しながらの挑戦です。

布団敷きが終わると次はキャンプファイヤーです。皆で丸くなり、キャンプだホイ！を踊ります。火の神様も登場します。松明を手に楓の蔦をまとった火の神様に子供たちの顔も真剣そのものです。火の神様から火の大切さを教わり火を分けていただき、花火も行います。

キャンプファイヤーの後はシャワータイムとなります。職員が一人一人健康観察を行い、さっぱりとしたところでパジャマに着替え、遊戯室に集まります。子供たちの手には自宅から持ってきたお気に入りのぬいぐるみ等が握られています。それぞれ自分たちの好きな場所



に、大好きなお友達とぬいぐるみと一緒に寝ます。

遊戯室の電気が消え、子供たちは眠りにつきます。疲れていてすぐに寝てしまう子、楽しかった興奮状態がまだ続き、目がぱっちりしている子、お家の人を思い出しちょっぴり寂しくなる子、子どもたちの思いはそれぞれですが、暗くなった遊戯室は静寂に包まれます。

起床時刻は6時15分ですが、それより早く起きている子もいます。もちろん起床の声がかかるまで寝ている子もいます。毎年面白いのは、子供たち、寝るときの

場所と起きた時の場所が全く違う子が多いことです。

そして隣に一緒に寝ていたぬいぐるみは…



これまた全く違うところに寝ています。

ひと晩を園で過ごした子供たちの顔は皆晴れやかです。自分のことは何でも自分でやらなくてはならない2日間、衣服の着脱、その始末、食事の準備、そしてお家の人とは離れて1人でお泊りをする子供たちにとっては本当に大きな経験となります。

朝食を食べ、終わりの会に集まった子どもたちの顔は自信に満ち溢れ、心の成長も感じられます。始まりと終わり

でこれほど表情の違いがわかるお泊り保育は経験の成せるものであり、子供たちにとって心が育つ行事だと思います。お友達や先生と過ごした1泊2日のお泊り保育、自分自身でやり遂げた経験により自信を深め、今後いろいろなことに挑戦していったほしいと思います。そして子供たちにとって、集団で衣・食・住の経験をするお泊り保育という行事をこれからも大切にしていきたいと思っています。



子どもから大人まで
楽しめる講座が盛りだくさん！

静岡福祉大学 公開講座

2025



静岡福祉大学は、地域の方々へ大学の専門的な知を還元することを目的として、公開講座を行なっております。今年度は12月までに大半の講座が終了しましたが、来年度も公開講座を開講する予定です。詳細は来年度、準備が整い次第お知らせいたします。ご期待ください。

講座数

福祉(12) 心理(6) 子ども(11) 介護(5) 一般教養(22)

連続講座(1~17)

韓国語講座(1~7)・わいわいがやがや縁台将棋(8~17)

今年度が開講された講座の一部を紹介します

- 有料老人ホームの価格と質
- 医療・介護が必要になった時に
知っておきたい知識
- 認知症の施策と今後について
- 中高年期の心理発達と幸せについて考える
- 心理学ははじめの一歩
- からだへの負担がちよっと軽くなる介護教室
①持ち上げない介護術
- ケアマネジャーとの関係づくり
- 幼児期に見逃されやすく学童期に
みえてくる障害と保幼小接続
- 歌って・あそんで表現活動XIII
- 大きな壁にお絵描きをしよう！
- キンダーブックとやなせたかしの世界
- ラジオコンカーのプログラムを作ろう
- 季節の歌を歌いましょう！
- 小泉八雲から学ぶ防災
- 素粒子で見る宇宙
- 放射線のはなし

※詳細はQRコードからご覧ください→



English Camp

イングリッシュキャンプ

静岡大成中学校

教諭 山本 淑子

中学2年生は、10月22日から24日にかけて、御殿場の国立中央青少年交流の家で行われるEnglish Campに参加してきました。

出発の日には朝から小雨でしたが、生徒たちは大きな荷物を持って集合し、体育室で出発式を行いました。この時すでに今回のプログラムのEnglish Teachers3名が参加して下さっていた



ので、出発式は英語でのスピーチが飛び交う場になり、3日間のプログラムへの期待と不安が入り混じる式となりました。

バス移動の後、御殿場に到着して昼食を食べてから、プログラムの開始です。3つのグループに分かれて、それぞれの講師から自己紹介や出身国についてのお話などを聞きました。



最初は緊張した面持ちだった生徒たちも時間がたつにつれリラックスして授業に参加するようになり、休み時間には体を動かして走り回るなどリフレッシュしている様子もありました。

基本的に、授業はネイティブの先生と英語のみで会話するというプログラムなので、最初は先生の言っていることや指示がわからなくて、戸惑う様子も見られました。しかし、ゲーム感覚で楽しめるようなアクティビティなどを通して笑顔が見られるようになり、生徒たちは楽しそうに取り組んでいました。

夜のキャンドルサービスでは幻想的な雰囲気の中、全員で歌を歌ったり、ゲームをしたりと、楽しい時間を過ごしました。

生徒たちの振り返り日記からは、「明日はもっとコミュニケーションをとれるようにしたい」、「だんだん講師の言っていることがわかるようになってきた」など、前向きな言葉が見られるようになり、頼もしく感じました。

研修棟での生活は、普段の家庭での生活とは異なるため、不自由なこともあります。時間に

追われる面もありましたが、規律正しく過ごしていました。施設の食事は毎回おいしいと好評で、生徒たちは頻繁にお代わりをして、食事の時間を楽しんでいました。

御殿場の気温は静岡よりも大変低く、朝晩は厚手の上着が手放せない寒さでした。二日目の朝はだいぶ冷え込み、富士山の初冠雪を見ることができました。雪を頂く富士山を真近で見ら



れたのは幸運でしたが、寒さは堪えませんでした。でも、そんな中ずっと半袖で過ごした強者も何人かいましたけれど…。

3日目には、各グループが英語で寸劇を披露する機会があり、発表を聞いているのも楽しいひと時でした。

English Campの3日間を通して、一人も体調不良者が出ず、全員がすべてのプログラムをやり遂げられたことに、生徒たちの成長を感じました。短い期間ではありましたが、コミュニケーションの大切さを実感し、身をもって体験できた貴重な日々だったと思います。



静岡大成高校

「期待を胸に」

～ Fuji - California Young Artists Expo 2025 カルフォルニア渡米事業アンバサダーに任命 ～

静岡大成高校2年 美術部 川内 ひまり

この度、私は美術部員として山梨県・静岡県・富士五湖自然首都圏フォーラム等が主催する「Fuji-California Young Artists Expo 2025」に作品を応募し、さらにカリフォルニアへの渡航を希望しました。その後志望理由など含め様々な審査をしていただき、見事カリフォルニアへの渡米事業にアンバサダーとして参加をさせていただけることになりました。

私が渡航を希望した理由として、「アートコミュニケーションツールの一つとして世界で交流していきたい」という夢があります。また主催者側の「アートは共通言語」という理念にも共感することができました。

決まった瞬間は喜びと嬉しさで気持ちが高まったことを今でも覚えています。また、まだ私が行ったことがない国

へ行くので、そこで何が待ち受けているのだろうかという期待と不安な気持ちもありますがとても楽しみです。そしてその期待を胸にカリフォルニアへ行き、一生に一度の時間を大切にし、実際に現地で経験し感じたことや学んだことを今後の自分の将来に繋げていきたいです。

最後に、父と母へ感謝すると共に、この事業を紹介してくれ参加に対して背中を押してくれた美術部顧問の日野岡先生にも本当に感謝をしております。また理事長様方からのご厚意で静岡精華学園からの奨学金（※編集部注：アモル奨学金）をいただくこともできましたので、それについてもカリフォルニアで大切に、そして有意義に活用させていただきます。

渡航で、アートを通して静岡大成高校

の良さや日本の良さを伝え、様々なことを吸収して知識として身に付けてきます。皆様、ご協力本当にありがとうございました。楽しんで学習してきます。



アモル奨学金について

学校法人静岡精華学園は令和7年度から「アモル奨学金」を創設いたしました。「アモル」とはラテン語で「愛」を意味し、学生・生徒・園児の活躍を支援する目的で、活動に対して返還不要の奨学金として支給されます。

この奨学金がスタートするきっかけになったのは、昨年度、山城常務理事の御姉様である大塚昭代様が、頑張っている学生・生徒・園児を応援するために使ってほしいとご寄付をくださったことです。その後、学内でその基金の運用ルールについて検討し、今年度からスタートさせたところ、川内ひまりさんはその第1号として認定されました。

この場を借りて、大塚昭代様に深く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

今後の川内さんのご活躍をお祈りするとともに、川内さんに続く学生・生徒・園児が出てくることを期待します。

【大塚昭代様からのメッセージ】

精華（幼稚園・中高・大学）の園児生徒学生さんたちが大いに羽ばたき活躍されることを願い、微力ながら応援したいと思います。

※詳しくは静岡大成高校HP内
「大成ブログ【高校美術部】」
「【公式】note」等をご覧ください。



■美術部の記事ブログ



■note



Badminton

バドミントン部

私たち男女バドミントン部は、楽しく全力で活動しており、部員同士の仲がとても良いです。部員数は多く、一人ひとりの得意・不得意を理解し合い、お互いに支えています。練習外では友



達として親しく関わり、練習中はチームメイトとしてお互いにアドバイスし合いながら活動しています。

バドミントンは、コートの端から端までを常に動き続けなければならないので、持久力が必要です。そのため、体力や筋力を向上させるための練習を頻繁に行っています。また、生徒自身で練習メニューを作成することが多く、常に考えながら練習に取り組んでいます。「どうすれば上達することができるのか」「どんなメニューが必要なのか」と、悩みながらもお互いに意見を出し合っていくことが、私たちの強さの秘訣です。部活動を通して、『社会に出て活躍できる人』を目指しており、挨拶・返事等の礼儀を大切に、誰からも



応援されるチームを目指しています。

顧問の稲本先生は、熱心に私たちの練習の指導をしてくださり、大変に感謝しています。引退した先輩方や卒業生の方々も、定期的に部活動に来てくださり、丁寧に指導してくれています。

これまでに、男女とも県大会で学校対抗戦ベスト4に入賞したり、個人戦で2位となり東海大会や中部日本大会に出場する等の実績を残しています。今度も県大会、そして東海大会・全国大会での活躍を目指し、日々の練習に励んでいきます。

Soccer

女子サッカー部

私たち女子サッカー部は、少人数ながらも明るく前向きに活動しています。日々の練習では、ただ言われたことをこなすのではなく、一人ひとりが自分で考え、意見を出し合いながら工夫して練習をしています。「どうすればもっとボールをつなげるか」「どんな動き出しが効果的か」と、試行



錯誤を重ねる過程そのものが、私たちの成長の原動力です。

チームの雰囲気はとても明るく、笑顔が絶えません。プレー中は真剣そのものですが、練習の合間には笑い声が響き、互いを励まし合いながら前向きに取り組んでいます。先輩後輩の壁もなく、誰でも意見を言いやすい雰囲気があり、それが主体的なチームづくりにつながっています。

少人数だからこそ、全員が責任を持って行動しなければなりません。ポジションや役割に関係なく、全員が声を出し、互いをサポートすることを大切にしています。時には思うようにいかない試合もありますが、仲間と話し合いながら問題点の根本を探り、次につなげる力は何のチームにも負けません。ハーフタイムでは前半戦でそれぞ

れのポジションで感じたことを互いに共有し後半戦に臨みます。年間に行われた試合のほぼ全ての試合で後半のスコアが良かったという結果は私たちの自信につながりました。

本年度の高校総体、高校選手権では、チーム一丸となって戦い、県大会ベスト8という結果を残すことができました。人数では他校に劣っても、最後まで走り抜く粘り強さと、全員サッカーで挑む姿勢が私たちの強みです。勝利の瞬間はもちろん、悔しい敗戦の中にも多くの学びがありました。これからも「本気で楽しく」サッカーに向き合いながら、一人ひとりが成長できるチームを目指していきます。

女子サッカー部は、サッカーが大好きな仲間が集まり、お互いを高め合う最高の場所です。これからも笑顔と情熱を大切に、日々ボールを追いかけていきます。



静岡福祉大学

学内でも、地域の皆様からも 愛される図書館を目指して ～学生図書館サポーターの活動や取り組みのご報告～

静岡福祉大学 社会福祉学部 福祉心理学科
学生図書館サポーター委員長 第4学年

岡本 亜揮斗



皆様、こんにちは。静岡福祉大学附属図書館学生図書館サポーターです。活動を開始した昨年度は数人での活動であったものの、今年度は多くの学生が加わり、現在では15名で活動を



しております。昨年度の良かった点・改善すべき点を活かしつつ、現在はイベント準備から運営、その後の反省まで一貫して行っております。今年度より広報活動（Instagramを活用）にも注力し、より図書館を知ってもらおうべく、活動を行っております。

また、学内における研究活動の促進を図るための公的機関としての使命や役割を果たすだけでなく、地域の皆様に向けて地域を知ってもらえる図書館となるための役割を本学図書館では担っているのではないかと感じております。それらを後押しし、学生目線であればより盛り上げていけるのかを考えながら引き続きイベント等を企画して参ります。このメンバーでしか叶えられないイベントを是非一度、ご覧下さい！



末筆になりますが、いつも本学図書館をご利用頂き、誠にありがとうございます。皆様のおかげでここまでたどり着くことができました。今後も本学図書館は発展を続けて参ります。どうか今後とも皆様のお力添えを賜りますよう、宜しく御願い申し上げます。



本学とモンゴル・グローバルリーダーシップ大学が教育・学術交流協定を締結

静岡福祉大学国際交流委員長 子ども学部子ども学科講師

木戸直美

2025年10月21日(火)、本学はモンゴル国・グローバルリーダーシップ大学(Global Leadership University: GLU)と「教育・学術交流に関する協定」を締結しました。約一か月前には、本学教職員3名がモンゴル国を訪問し、現地で覚書(MOU)を交わしており、今回の協定は焼津市からのご紹介・ご協力により実現したものです。

当日は、GLUのオドゴンバト学長(Otgonbat Barkhuu)が協定締結のため来訪し、午前中は齋藤副学長・山城常務理事・国際交流委員長と共に焼津

市役所を表敬、中野弘道市長より国際交流推進への期待のお言葉をいただきました。午後には本学玄関で教職員・学生による歓迎の後、増田樹郎学長との調印式を実施しました。オドゴ



ンバト学長は「日本の大学と協定を結ぶのは初めてであり、GLUの歴史に刻まれることです。今後の学生・教員の交流、学術協力を大変意義深く感じます。」と述べられました。調印式後には、学内施設や焼津駅前サテライトキャンパス(しずふく駅キャン)のモンゴル展などを視察し、実践的な意見交換が行われました。

2026年9月には本学学生のGLUへのスタディツアーも予定されており、今回の協定締結を機に両大学の交流は今後さらに発展することが期待されます。

焼津市観光協会との包括連携協定について



令和7年7月31日(木)に、一般社団法人焼津市観光協会と静岡福祉大学との包括連携に関する協定締結式を執行了しました。

この協定は焼津市観光協会と本学が相互に連携し、各々が保有する人

的・知的資源を効果的に活用し、活力あるまちの創出と焼津市の活性化と発展に資することを目的としています。

協定締結式には一般社団法人焼津市観光協会理事長の牧田和夫様のほか、理事の

皆様、焼津市商工観光課長にもお集まりいただき、無事に協定を締結することができました。

牧田理事長からは本学の学生が「焼津のまちの応援団として頑張ってもらいたい」とお言葉をいただきました。

今年度は第49回焼津花火大会映画会、公開講座「焼津おもしろ百選」の開講、静福祭での出店などに取り組んでまいりました。今後も焼津のまちがさらに元気に盛り上がり、地域の魅力向上につながるよう、連携を図ってまいります。

静岡福祉大学地域連携推進センター



同窓生の
皆様へ

静岡福祉大学からの お知らせ

下記の対象者が静岡福祉大学に入学した場合
入学金全額を免除いたします。

● 対 象

静岡精華学園グループを卒園・卒業した者、
またはその者の子や孫

● 免 除 額

入学金20万円

ご不明な点等ございましたら、
下記入試広報課までご連絡ください。

【お問い合わせ】

静岡福祉大学 入試広報課

〒425-8611 静岡県焼津市本中根549-1

TEL 054-623-7451 MAIL siryo@suw.ac.jp

同窓生の皆様とご家族に向けた静岡福祉大学の特別な奨学金制度についてご案内いたします。

静岡福祉大学は、静岡精華学園グループ校同窓生の皆様との絆を大切に考え、グループ内の学校(幼稚園、中学、高校、短大、大学)の同窓生とそのお子様、お孫様が静

岡福祉大学へ入学される場合、入学金20万円を【全額免除】する制度を今年度創設いたしました。

例えば、静岡精華幼稚園を卒園された方ご本人や、静岡精華高校を卒業された方のお孫様、静岡精華短大を卒業された方のお子様などが対象となります。

慣れ親しんだ静岡精華学園の精神を受け継ぐ大学で、福祉の専門性を高める、あるいは幼稚園や小学校の先生を目指して学んでみませんか？

進路をご検討中のお子様・お孫様がいらっしゃるいましたら、ぜひこの特典をご活用ください。



university
seminar

学生が自主的に研究テーマを決め、
自分の主張を確立していく過程を
手伝えることが教員としての愉しみ。

静岡福祉大学 社会福祉学部 福祉心理学科 学科長・教授

福田 幸夫



本学の社会福祉学部の卒業研究Ⅰ・Ⅱは、本年度の入学生から必修科目になりましたが、2年生移行の学生は選択科目にもかかわらず、毎年意欲的な学生が受講してきます。

他の先生方の卒業研究と異なり、「福祉サービス利用者の権利擁護」や「サービス評価」、「よりよい日常生活支援のあり方」等、ちょっとほかしたテーマでの学生への通知だったため、学生の研究テーマも様々で

す。特に、障がい者等福祉サービス利用者が身内にいる故の生活課題や、ソーシャルワーク(施設)実習での体験を基にした、高齢者や障がい者へのサービス提供のあり方をテーマにする学生が多いと思います。

学生が自主的に研究テーマを決め、主体的に文献研究や調査等によって自分の主張を確立していく過程をお手伝いできることは、大学教員としての愉しみのひとつになっています。

NEWS

静岡大成中学校

自分の髪で誰かが少しでも
笑顔になってほしい

静岡大成中学校・3A 石川 陽絆



「every.しずおか(Daiich-TV)2025.3.26放送」

「every.しずおか(Daiich-TV)2025.3.26放送」



私は小学6年生から中学2年生までの3年間、髪を伸ばしヘアドネーションをしました。私の母が乳がんを患い、治療の副作用で髪の毛を失ってしまいました。家族として一番近くで母の姿を見て「母と同じように苦しんでいる人の力になりたい」と思ったことが、この活動を始めたきっかけ

です。髪を伸ばした3年の間には辛いことや大変なこともたくさんありましたが、自分の髪で誰かが少しでも笑顔になってくれるのならその努力は無駄では無かったと思います。今後、もっとヘアドネーションをする人が増えて、悲しい思いをする人が減ったら良いと思っています。



令和7年度 静岡精華・大成 同窓会総会と今後

静岡精華・大成同窓会では、主な行事として、秋季に開催する同窓会総会があります。しかしながら大成卒生の出席者がいない状況が続いております。同窓会だよりを発行しても、封を開けてくれない現状に、試行錯誤しながら今年度は若い世代には、ハガキにQRコードを添付して郵送することにしました。お手元に届い



たのが総会の一か月前となってしまいましたが、Googleフォームにいろんな世代からの回答が多く寄せられました。

そうした中開催した今年度の総会は、20代から90代までの幅広い年齢層の方々が出席してくださいました。SBSラジオパーソナリティの山田門努氏のバイタリティ溢れる司会進行で、米寿の方から精華時代の貴重な体験談や、食事をしながら静岡出身のボーカリスト森一馬氏の巧みなトークと圧巻の歌唱力に魅了されました。クイズ大会では、精華・大成に纏わるクイズが10問出題され全問正解者が8名もあり、ジャンケン勝者に豪華景品が贈呈されました。

今回企画運営を企業に依頼することにより、いままでとは少し違った総会になったのではないのでしょうか。そして、今回初めて出席してくれた人たちが来年は

同級生を誘ってまた参加してくれたら嬉しく思います。

今後は、同窓会総会を

- ①それぞれの部活やクラスの友だちと集まる場にしたい！
 - ②いつか学園祭とコラボさせたい！
 - ③同窓生の皆さんの声を集めて、皆さんで総会を創り上げたい！
- と思っています。

精華卒生には懐かしく、大成卒生には新しい同窓会を目指し、これから大成卒生が参加したいと思うような総会にしていくためにも、愛校心が強く精華魂を持った諸先輩方の支えがあって成り立っている同窓会を、新しい若い力でパワーアップしていければと思います。



静岡福祉大学 同窓会



静岡福祉大学同窓会は、静岡精華短期大学、静岡福祉情報短期大学、静岡福祉短期大学部、静岡福祉大学の卒業生が同窓会員であり、同窓会の名称を「福華会(ふくはなかい)」としております。

静岡福祉大学同窓会では、同窓生相互の連携並びに同窓生と在学生との交流を図ると共に、大学への援助および在学生への支援、あわせて大学の発展に寄与することを目的としており、会の発足から31年を迎え、現在会員は5,641名となっております。

また役員につきましても、大学の卒業生が増えてきておりますので、更に大

学との協力関係を強化していければと考えております。

静岡福祉大学同窓会「福華会」事務局



令和7(2025)年10月～令和8(2026)年3月 学校法人静岡精華学園行事予定表

10月	October	11月	November	12月	December	1月	January	2月	February	3月	March
1 ㊦ 願書受付(幼)		1 ㊦ 入試説明会(中) 学校説明会(高)		1 ㊦ 修学旅行～12/5(高2)		1 ㊦ (祝)元旦		1 ㊦ 一般入試前期(大)		1 ㊦	
2 ㊦ 校内意見発表会(中)		2 ㊦		2 ㊦		2 ㊦		2 ㊦ 一般入試前期(大)		2 ㊦ 卒業式(高)	
3 ㊦ 秋の遠足(幼)		3 ㊦ (祝)文化の日		3 ㊦ 学内企業セミナー(大)		3 ㊦		3 ㊦ 節分の集い(幼)/高校入試(学力) 介護福祉事例報告会(大)		3 ㊦ ひなまつりの集い(幼)	
4 ㊦ PTA/バザー(幼)		4 ㊦		4 ㊦		4 ㊦		4 ㊦ 高校入試(面接)		4 ㊦	
5 ㊦		5 ㊦		5 ㊦		5 ㊦		5 ㊦		5 ㊦	
6 ㊦		6 ㊦		6 ㊦ 入試説明会(高)		6 ㊦ 始業式(中・高) 書初め大会(中)		6 ㊦ 音楽あそび発表会(幼)		6 ㊦	
7 ㊦		7 ㊦		7 ㊦ 総合型選抜入試B日程(大)		7 ㊦ 防災訓練(中・高)		7 ㊦		7 ㊦	
8 ㊦ 校内意見発表会(高)		8 ㊦ 運動会(幼)		8 ㊦		8 ㊦ 始業式(幼)		8 ㊦		8 ㊦	
9 ㊦		9 ㊦		9 ㊦ 劇あそび(年少)(幼)		9 ㊦ もちつき大会(幼)		9 ㊦		9 ㊦	
10 ㊦		10 ㊦		10 ㊦ 劇あそび(年中)(幼)		10 ㊦ 中学入試(前期) ソーシャルワーク実習報告会(大)		10 ㊦		10 ㊦	
11 ㊦ オープンキャンパス(大)		11 ㊦ 教育面談～11/19(幼) 講演会(中・高)		11 ㊦ 劇あそび(年長)(幼)		11 ㊦		11 ㊦ (祝)建国記念の日		11 ㊦ 一般後期、総合C日程、公募推薦後期(大)	
12 ㊦		12 ㊦		12 ㊦		12 ㊦ (祝)成人の日		12 ㊦		12 ㊦ 卒園式(幼)	
13 ㊦ (祝)スポーツの日		13 ㊦		13 ㊦		13 ㊦		13 ㊦ 観劇会(幼)		13 ㊦ 卒業式(大)	
14 ㊦ 防災訓練(大)		14 ㊦		14 ㊦ オープンキャンパス(大)		14 ㊦		14 ㊦		14 ㊦	
15 ㊦		15 ㊦		15 ㊦		15 ㊦		15 ㊦		15 ㊦ オープンキャンパス(大)	
16 ㊦		16 ㊦ 指定校推薦入試前期、公募推薦 前期、社会人前期、編入前期(大)		16 ㊦		16 ㊦		16 ㊦ 一般中期、総合C日程、指定校推薦後期、 社会人後期、編入後期、外国人(大)		16 ㊦ 修了式(幼)	
17 ㊦ 入園面接(幼)		17 ㊦		17 ㊦ クリスマスの集い(幼)		17 ㊦ 大学入試共通テスト		17 ㊦		17 ㊦	
18 ㊦ 入試説明会(中) 学校説明会(高)		18 ㊦		18 ㊦		18 ㊦ 大学入試共通テスト		18 ㊦		18 ㊦ 卒業式(中)	
19 ㊦ 総合型選抜入試A日程(大)		19 ㊦ 新入園児保護者会(幼)		19 ㊦ 終業式(幼) 終業式、Xmasリース講座(中・高)		19 ㊦		19 ㊦		19 ㊦ 修了式、離任式(中・高)	
20 ㊦		20 ㊦ スポーツフェスティバル(中・高)		20 ㊦		20 ㊦		20 ㊦		20 ㊦ (祝)春分の日	
21 ㊦		21 ㊦		21 ㊦		21 ㊦ 新入園児保護者会(幼)		21 ㊦		21 ㊦	
22 ㊦ イングリッシュキャンプ(中2)		22 ㊦		22 ㊦		22 ㊦		22 ㊦		22 ㊦	
23 ㊦ イングリッシュキャンプ(中2)		23 ㊦ (祝)勤労感謝の日 静福祭(大)		23 ㊦		23 ㊦		23 ㊦ (祝)天皇誕生日		23 ㊦	
24 ㊦ イングリッシュキャンプ(中2)		24 ㊦ (祝)振替休日		24 ㊦		24 ㊦ 中学入試(後期) 子ども学部卒業研究発表会(大)		24 ㊦		24 ㊦	
25 ㊦		25 ㊦		25 ㊦		25 ㊦ 子ども学部卒業研究発表会(大)		25 ㊦		25 ㊦	
26 ㊦		26 ㊦		26 ㊦		26 ㊦		26 ㊦		26 ㊦ プレゼミナー(入学前教育)(大)	
27 ㊦		27 ㊦		27 ㊦		27 ㊦		27 ㊦		27 ㊦ 入学前オリエンテーション(大)	
28 ㊦		28 ㊦		28 ㊦		28 ㊦		28 ㊦		28 ㊦	
29 ㊦ 造形参観(年少)(幼)		29 ㊦ 入試説明会(高) 学友会主催スポーツ大会(大)		29 ㊦		29 ㊦				29 ㊦	
30 ㊦ 造形参観(年中)(幼)		30 ㊦		30 ㊦		30 ㊦				30 ㊦	
31 ㊦ 開学記念日(大) 造形参観(年長)(幼)				31 ㊦		31 ㊦				31 ㊦	

注：(幼)＝幼稚園 (中)＝中学校 (高)＝高校 (大)＝大学 行事の予備日については各組織にお問い合わせください

編集後記
S E I K A

かつて日本の学校には、教師が生徒の頭髮やスカート丈を厳しく点検する「校門指導」があった。振り返れば、当時の学校は難関大学や一流企業への合格率を最重要視し、その力が弱い学校ほど、生徒の外見を整えることで評価を保とうとしていたように思う。

この秋号に掲載された幼稚園の「お泊まり保育」の記事には、教育が本来大切にすべき姿が示されている。少子化が進み、学校が存続をかけて工夫を重ねる時代だからこそ、教育の本筋だけは見失ってはならないと強く感じる。

幸いなことに、私たちには多くの卒業生がいる。社会で元気に生きる彼ら・彼女らこそ、学校にどのような学びを求めるのかを語る資格を持つ存在だ。その声に、これからも真剣に耳を傾けていきたいと思う。

(編集部 S・W)

backnumber
バックナンバーをご覧になりたい方はQRを。

R4 Vol.03



R4 Vol.04



R5 Vol.05



R5 Vol.06



R6 Vol.07



R6 Vol.08



R7 Vol.09



静岡福祉大学



静岡大成高等学校



静岡大成中学校



静岡精華幼稚園